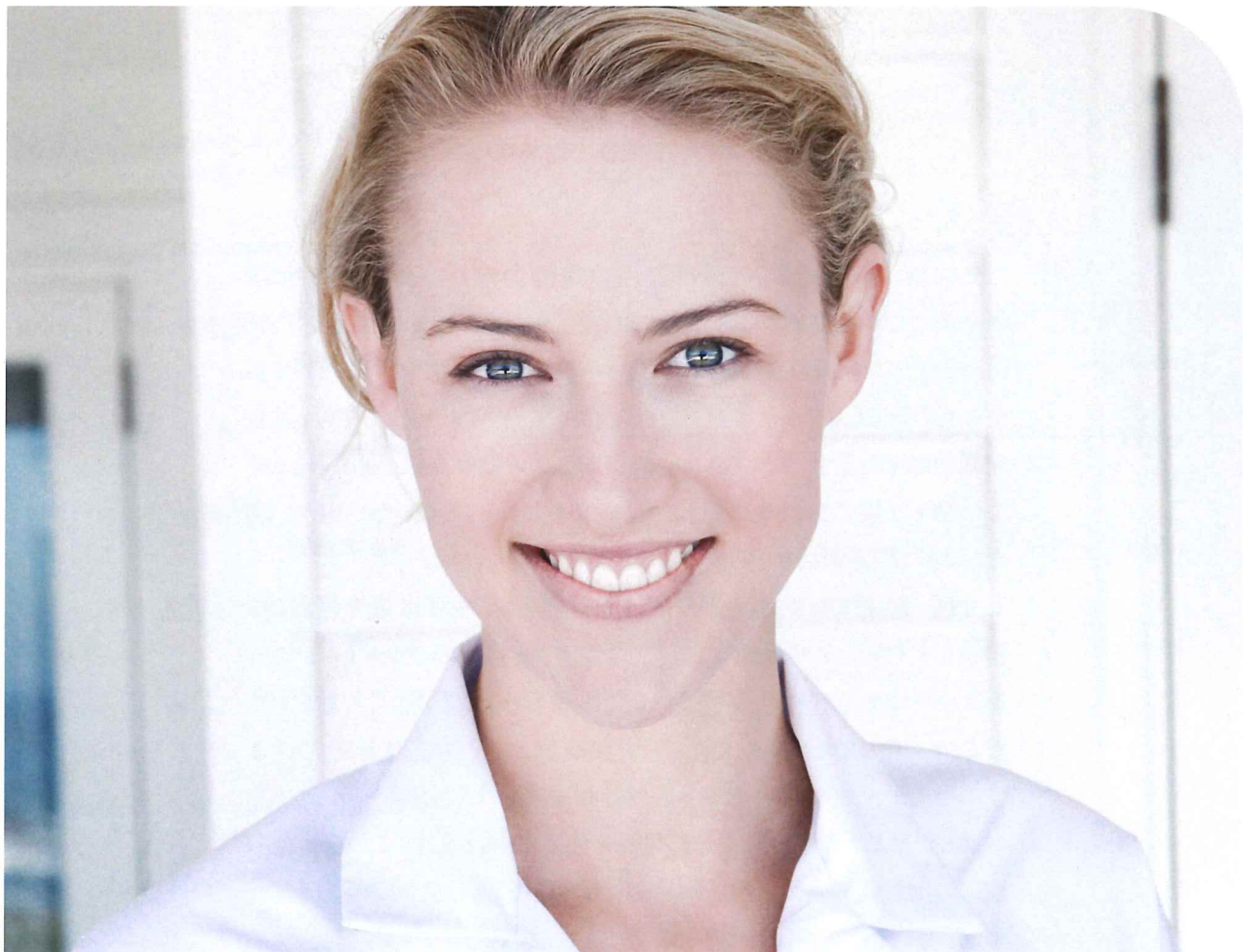


WDAI ● 第1回定例会

プログラム／抄録



WDAI

Women Dental Academy for Implantology

集い、学び、女性歯科臨床家たちをつなぐ。

日時 ● 2016年10月23日(日) 10:00～16:00

会場 ● 日本歯科大学 生命歯学部 九段ホール

Supported by

 **straumann**
simply doing more



会長ご挨拶

WDAI会長 柳井 智恵 (日本歯科大学)

この度、10月23日WDAI第1回の定例会が日本歯科大学九段ホールにて開催されることとなりました。今年の7月3日WDAI First meetingのお披露目会には多くの方々のご参加・ご支援をいただき盛会に行われましたことに感謝いたしております。インプラントを主軸とする包括的臨床を志す、すべての女性歯科臨床家の教育支援、臨床家としての活動を支援することを目的としてこの会をスタートしました。そして、私たちは第1回定例会を開催するため準備して参りました。

今回、記念すべき初回において、特別講演として、ITI教育幹事をご担当します勝山英明先生に「近代インプラント治療のパラダイムシフト」をテーマにインプラントの歴史から将来像までをも予期してお話をいただくことになっております。また、教育講演として、WDAI副会長であります田中道子先生にインプラント治療計画立案を行う上のキーポイントをお話いただきます。そして会員発表を企画しております。この会は歯科臨床の次世代を担う女性リーダーを育成することを目標としておりますため、発展的な学習や研修が得られる場として提供できますよう準備をして参りますので、ぜひ、皆様のご参加・ご支援をお願いいたします。

地は良し九段にてお会いしましょう!

WDAI ● 第1回定例会プログラム

10:00 - 10:05	オープニングリマーク WDAI 会長 柳井 智恵	5 min.
午前の部 座長: WDAI 副会長 立川 敬子		
10:05 - 11:05	教育講演 インプラント治療の治療計画立案 ~ 最小限の押さえておくべきポイント ~ 田中 道子	60 min.
11:05 - 11:20	ブレイク	15 min.
11:20 - 11:40	会員発表 ガイドを用いた First Case Report 石黒 恵里子	20 min.
11:40 - 12:00	会員発表 歯科衛生士の意識調査 ~ 若手歯科衛生士の就業実態調査より ~ 渡邊 美和子	20 min.
12:00 - 13:00	ランチ	60 min.
午後の部 座長: WDAI 副会長 渥美 美穂子		
13:00 - 14:30	特別講演 近代インプラント治療のパラダイムシフト Paradigm shift in modern implant therapeutics 勝山 英明	90 min.
14:30 - 14:45	ブレイク	15 min.
14:45 - 15:05	会員発表 下顎大臼歯一歯欠損に対してインプラント埋入した症例 日本口腔インプラント学会ケースプレゼンテーションの作り方 森山 聖子	20 min.
15:05 - 15:25	会員発表 安全確実にインプラント治療を成功に導く当医院の取り組み 100% ガイデッドサーージェリー 三好 理恵子	20 min.
15:25 - 15:55	Q & A	30 min.
15:55 - 16:00	クロージング WDAI 副会長 田中 道子	5 min.
16:30 - 18:30	懇親会 会場: ホテルメトロポリタンエドモント 1F 「ベルテンポ」 (11 ページご案内を参照ください)	120 min.

座長

午前の部

10:05-12:00



立川 敬子

東京医科歯科大学歯学部附属病院回復系診療科インプラント外来

昭和60年3月

東京医科歯科大学歯学部卒業

昭和60年4月

東京医科歯科大学歯学部第二口腔外科学講座入局

平成2年3月

東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了(歯学博士)

平成3年6月

東京医科歯科大学歯学部第二口腔外科学講座助手

平成9年1月

東京医科歯科大学歯学部附属病院インプラント外来講師

【所属学会】 日本口腔インプラント学会 専門医・指導医,代議員
 日本顎顔面インプラント学会 専門医・指導医
 日本口腔外科学会 専門医

午後の部

13:00-15:25



渥美 美穂子

平成元年

神奈川歯科大学卒業

平成4年

神奈川歯科大学大学院博士課程修了

平成4年～

神奈川歯科大学補綴学教室勤務 補綴科講座長、医局長歴任

平成15年～

神奈川歯科大学補綴科, インプラント科兼任

平成16～18年

米国州立ミシガン大学留学

平成20年

神奈川歯科大学附属病院インプラント科 歯科インプラント部門長

平成24年

神奈川歯科大学附属病院インプラント科 科長

平成26年

MAデンタルクリニック設立

神奈川歯科大学特任講師

【所属学会】 日本口腔インプラント学会専門医
 日本補綴歯科学会専門医・指導医
 日本歯周病学会
 American Academy of Periodontology

教育講演 10:05-11:05

インプラント治療の治療計画立案 ～最小限の押さえておくべきポイント～

田中歯科鎌倉 田中 道子



従来の欠損補綴法(Bridge,RPD,FD)と比較してインプラント治療の優位性は次の3点にあります。

- 健全歯質の切削障害の回避
- 咬合崩壊の回避
- 失われた咬合の再構成

「インプラント治療が従来の補綴法より優位である」とはどういうことか、「なぜ優位なのか」を理解することが治療計画立案の最小限の押さえておくべきポイントとなります。

また治療計画立案に際して診査診断が重要であることは言うまでもありません。rehabilitative zoneとaesthetic zoneでは診査する視点が違います。よって診査項目を2つに分けました。

インプラント治療の歴史的背景からrehabilitative zoneへのインプラント適用は確立されてきていますがaesthetic zoneへの適用は繊細で微妙であると考えています。症例選択、術者の習熟度、審美を得るための患者への侵襲、グラフトのマテリアル、インプラント自身の形状、上部構造、長期予後などを考えると私としては微妙です。

今回それぞれにケースを挙げてご覧させていただきますが、20年後、皆様の診療室は苦痛から解放された患者一人一人のドラマであふれています。若い女性歯科医師の皆様、衛生士の皆様、歯科医療に携わる皆様、万難を排して治療室にたってください。続けてください。きっと皆様自身がドラマの主役であることに気づくでしょう。20年後に……

会員発表 11:20-11:40

ガイドを用いたFirst Case Report

医療法人 愛健会 新安城歯科 石黒 恵里子

歯科臨床におけるデジタル技術の進歩とともに、インプラント臨床においてガイドットサージェリーが普及しつつあります。ガイドットサージェリーは、インプラント臨床経験の浅い私のような若手歯科医師にとっても大変心強いシステムです。

そこで今回は、私が経験したガイドを用いた初症例についてご紹介させていただきます。

I 目的:

右下5番、左上6番欠損部に対して、デジタル技術を用いたインプラント補綴を計画した。治療途中ではあるが、ガイドットサージェリーにおいて得られた臨床的知見を報告する。

II 症例の概要:

患者:70代女性

既往歴:花粉症、喫煙歴なし、常用薬なし。

全身所見:特記事項なし。

口腔内所見:咬耗よりブラキサーが強く示唆された。

処置:[右下5番]数年前に抜歯。2016年3月φ4.1mm長さ10mmのストロマンインプラント(SP)を埋入。φ2.8mmのスリーブを用いたため、φ3.5mmのドリリングはフリーハンドとなり、設計時より頬側に傾斜した埋入となったが、初期固定は35Ncmと良好。2016年7月印象採得を行い、患者都合により上部構造は来月装着予定である。

[左上6番]2016年1月、予後不良と判断され抜歯。2016年6月φ4.1mm長さ8mmのストロマンインプラント(SP SLActive)を埋入。同時にソケットリフトを施行した。初期固定は35Ncmであった。2016年10月印象採得を行い、上部構造は来月装着予定である。

III 経過:

両部位とも上部構造のセットには至っていないが、初期固定十分で上部構造印象時におけるまで口腔衛生状態の観点からも経過は良好である。

IV 考察および結論:

ガイドットサージェリーの有用性を実感する一方で、デジタル技術に頼らない術者自身の研鑽の重要性を実感した。

会員発表 11:40-12:00

歯科衛生士の意識調査 ～若手歯科衛生士の就業実態調査より～

医療法人社団堯舜会 MAデンタルクリニック 渡邊 美和子



I 目的:

近年、インプラント治療は巷間に広く浸透し、希望される患者様が増加している。その中で、インプラント治療における歯科衛生士の役割は大きい。しかし昨今、歯科医院では歯科衛生士の不足が深刻な問題となっている。そこで今回第45回日本口腔インプラント学会にて報告した「卒後2年歯科衛生士の就業実態調査」を元に、歯科衛生士不足解消の糸口を見つけるべく、歯科衛生士の意識調査を行った。

II 方法:

平成24年度に湘南短期大学歯科衛生学科を卒業し、第22回歯科衛生士国家試験に合格した歯科衛生士のうち、アンケート調査に同意を得た女性41名を対象に「卒後2年歯科衛生士の就業実態調査」を行い、その結果ついて当院の歯科衛生士5名にて座談会形式で話し合いの場を設けた。歯科衛生士は、20代2名、30代2名、40代1名の構成である。また、育児休暇中の30代歯科衛生士にも意見を聞いた。

III 結果:

「卒後2年歯科衛生士の就業実態調査」のアンケート回収率は87.8%で、36名からの回答を得た。現在衛生士として働いていますかの問いに約9割ははいと回答したが、約1割はすでに離職していた。現在衛生士として働いている人のうち33%は既に転職を経験し、2軒目ないしは3軒目の歯科医院にて勤務している。93%の人は今後も衛生士として働きたいと回答しているが、その期間については10年以下を希望するという回答が過半数を占め、卒後2年の時点で衛生士をライフワークにするという意識で働いている人は全体の3割程度に留まった。以上のことから、ファーストキャリアの大切さが示唆された。資格保有者の殆どが女性ということもあり、結婚や出産などのライフイベントを視野に入れて10年以内に退職したいという回答が多く見受けられたが、衛生士という仕事の楽しさを見出し、仕事における不満を少しでも解消し、ライフイベントに逃げるように退職するのではなく、その後も柔軟に働ける環境づくりが必要である。

IV 考察および結論:

以上の意識調査から、WDAI歯科衛生士部門に期待がかかる項目を列挙する。①歯科衛生士のファーストキャリアをサポートする、②子育て中の歯科衛生士の支援活動を行う、③専門分野に特化した復職支援を行う、④歯科衛生士の社会的地位の向上に向けて取り組む、⑤現役歯科衛生士のモチベーションを上げるセミナーやディスカッションを開催する



特別講演

13:00-14:30

近代インプラント治療のパラダイムシフト Paradigm shift in modern implant therapeutics

勝山 英明

インプラント治療はOsseointegrationの概念の確立を基にこの50年間大きく発展してきました。従来の無歯顎を中心とした治療プロトコルからインプラントを前提とした抜歯後の治療から審美部位へ、さらには大きな骨欠損部位への対応まで適応症は拡大しました。一方、歯科医師側の教育と研修は充実しているとは言えず、科学的データを基にした治療プロトコルの推進は未だ不十分であり、多くの合併症と失敗を生み出すこととなってしまいました。また、社会環境も大きく変遷しており、急速な高齢化は人口動態にも大きく影響をもたらし、治療を希望する患者の高齢化もしくは様々な全身疾患等の問題も日常的に対応する必要があります。インプラント治療におけるハードウェアの発展はなおも継続中であり、早期及び後期のシステム毎の成績も検証されつつあり、治療成績に影響を与えるリスクファクターも明らかになりつつあります。

また、コンピュータ支援インプラント治療は急速に進歩しつつあるものの、デジタルワークフローは未だ分断されており、各シーケンスのシームレス化には障害も多くあります。インプラント治療は外科主導から補綴主導へ、さらには患者中心のインプラント治療への方向性は明らかであり、臨床医側の変革も求められています。歯科医療に関わる女性比率は特に歯科医師においても急速に女性比率が上昇しており、より中心的役割を担うことが求められています。女性の歯科医療人の将来像についても期待を踏まえ、予測したいと思います。

1987年 九州大学歯学部卒業
 1991年 九州大学歯学部大学院歯学臨床系口腔外科学修了(歯学博士)
 1991年 米国ハーバード大学医学部 Beth Israel Hospital,
 Department of Medicine, Cardiovascular Division, Research fellow
 2015年 東京医科歯科大学客員教授
 2016年 神奈川歯科大学客員教授
 日本口腔インプラント学会認定研修施設
 みなとみらい(MM) インプラントアカデミー施設長
 ITI教育幹事

会員発表 14:45-15:05

下顎大白歯一歯欠損に対してインプラント埋入した症例 日本口腔インプラント学会ケースプレゼンテーションのつくり方

西川口腔科クリニック 森山 聖子



I 緒言:

下顎臼歯部中間欠損症例に対してインプラント治療を行った結果、部分床義歯やブリッジで問題となる支台歯への過重負担や隣在歯の切削を避け、良好に経過している症例を発表する。

II 症例の概要:

患者:34歳 女性

初診:2010年3月

主訴:右側で噛みにくい

既往歴:全身所見に特記事項なし

現病歴:2005年に下顎右側第1大白歯の抜歯治療を受けたまま放置していたが、咀嚼障害を主訴に当院を受診した。

現症:下顎右側第1大白歯は欠損、下顎左側第2大白歯は治療途中であった。口腔清掃状態は良好で、歯周精密検査の結果プロービングデプスは全顎3mm以下で排膿や動揺はみられなかった。下顎右側第1大白歯相当部の顎堤粘膜に異常はなく、パノラマX線写真において歯槽骨には十分な骨量が認められた。顎関節部の異常も認められず顎位も安定していた。

診断名:下顎右側第1大白歯欠損による咀嚼不全

治療経過:ブリッジと可徹性部分床義歯、インプラント治療それぞれの利点、欠点、治療期間、費用、メンテナンスの必要性についてインフォームドコンセントを行ったところ、患者はインプラント治療を選択し治療の同意を得た。

前処置として口腔衛生指導および歯周基本初期治療を行い、X線写真およびCT画像診査により適正な埋入部位を設定した。

2010年3月下顎右側第1大白歯欠損部に局所麻酔下にてサージカルステントを用いてインプラント(ストローマン社製R直径4.8mm長径10mm)を埋入した。術中は生体監視モニターで全身管理を行った。初期固定、術後の経過は共に良好であった。3カ月の免荷期間後にプロビジョナルレストレーションを装着し、咀嚼機能の確保および口腔衛生指導を行った。同年9月に最終印象を行い、陶材焼付鑄造冠による上部構造を仮着セメントにて装着した。

III 結果:

上部構造装着後は3カ月ごとにメンテナンスを行っている。6年7カ月経過した現在でも、動揺や周囲組織の炎症はなくエックス線写真でも異常所見は認められない。咀嚼力、審美性に関して患者の満足度も高い。

IV 考察および結論:

下顎大白歯中間欠損に対してインプラント治療を行った本症例では、両隣在歯の健全歯質の切削と支台歯への荷重負担を回避して、咬合の安定と機能的、審美的な回復を得ることができた。インプラント周囲組織と上部構造の咬合状態について、今後も長期的に経過観察を行う必要がある。

会員発表 15:05-15:25

安全確実にインプラント治療を成功に導く当医院の取り組み 100%ガイドドサージェリー

医療法人敬人会 三好西山歯科クリニック インプラントセンター21 三好 理恵子



I 目的:

ガイドドサージェリーにより、患者様にとっても術者にとっても安心安全確実にインプラント治療が実現できる。今回、当医院のインプラント治療の流れを紹介するとともに、ガイドドサージェリーの必要性を実際に症例で示し、これにより良好な結果が得られたことを報告する。

II 症例の概要:

症例1;56歳女性。左下⑤⑥⑦Brの支台歯が歯頸部カリエスのため再治療が必要になった。その理由を説明した結果、再々治療は避けたいと左下6ポンティック部にインプラント治療を希望。2016年8月、インプラント(ストローマン社製φ4.1×10mm)1本をノーベルガイドを応用して埋入した。

症例2;40歳女性。歯軋り喰いしぼりが顕著。左上6が歯根破折が原因で1年前に他院にて抜歯済み。インプラント治療後ナイトガードの使用を前提に2009年12月インプラント(ノーベルバイオケア社製φ5×11.5mm)1本の埋入手術を行った。2010年4月、精密印象後、暫間補綴装置を装着し、2週間ごとに3段階で咬合回復を行い、同年5月最終上部構造をスクリュー固定した。

III 経過:

症例1;手術後治癒待ち。トラブルもなく今月補綴に移行予定。

症例2;メンテナンスにて2年に1度パノラマX線、1年に1度デンタルX線撮影。口腔内にも異常所見は確認されず経過良好と判断。

IV 考察および結論:

ガイドドサージェリーはインプラント治療を安心安全確実に成功させるために必要不可欠な術式であると考ええる。

1986年 昭和大学歯学部卒業
1987年 三好歯科医院勤務
1999年 インプラントセンター21勤務
2014年 三好西山歯科クリニック勤務
デンタルコンセプト21会員

WDAI 第1回定例会 懇親会

日時 2016年10月23日(日) 16:30から
 会場 ホテル メトロポリタン エドモント1F「ベルテンポ」
 東京都千代田区飯田橋3-10-8 Tel.(03)3237-1111
 参加費 ¥3,000 (当日受付にてお支払いください)
 アクセス <http://www.edmont.co.jp/access/>



WDAI第1回定例会会場 日本歯科大学 生命歯学部 九段ホールより 徒歩約10分



Women Dental Academy for Implantology (略称:WDAI)

女性歯科インプラントアカデミー

〈WDAI事務局〉

info@WDAI.jp

〒541-0044 大阪府中央区伏見町4-2-6 平松ビル5階

ユースマインド株式会社内

TEL:06-6233-4777 FAX:06-6233-3885

www.WDAI.jp